

第72回関東地区高等学校PTA連合会大会群馬大会 大会宣言文

近年社会を取り巻く環境は、少子高齢化による生産年齢人口の減少、グローバル化や技術革新等による社会構造の変化が私たちの生活に直に影響を及ぼすようになっていきました。地球規模の自然災害や異常気象も頻発しています。特にここ数年の夏季における異常高温は我々の日常生活を脅かすほどの異常さです。また、治まらない地域紛争も我々の生活に影を落とし、「自国ファースト」の考え方や人々の意識や価値観の多様化により、学校・家庭・地域の連携がますます希薄になっています。

さらに、新型コロナウイルス感染症の影響がまだまだ色濃く残っています。感染症法上の位置づけが5類へと移行されましたが、学力や体力、対人関係能力等に影響が出ています。特にSNSの普及やAIの発達などの情報化の波が生活の中に浸透し、集団よりも個人、外で遊ぶよりも室内でスマホ、対面での活動よりもネット上の情報に頼る等、巣ごもり状態となっています。これでは自己責任感、他者への思いやり、ネット上の何を信じ・何が正しいのかの判断等に憂慮すべき問題が存することになります。

国においては、令和5年に第4期教育振興基本計画が策定され、今後5年間を通じて目指すべき教育の姿が明らかにされました。この計画の基本コンセプトの一つに「日本社会に根ざしたウェルビーイングの向上」があります。ウェルビーイングとは、身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。短期的な幸福のみならず、生きがいや人生などの将来にわたる持続的な幸福を含むものであり、個人のみならず、個人を取り巻く場や地域、社会が持続的に良い状態であることを含む包括的な概念とあります。ウェルビーイングの捉え方は国や地域の文化的・社会的背景により異なり得るものであり、一人一人の置かれた状況によっても多様なウェルビーイングの求め方があり得ます。

このような中、第72回関東地区高等学校PTA連合会大会群馬大会が、「交流と創造～輝く高崎」において、関東地区各県から集まったPTA会員の皆様により開催され、研修と交流を深めることは誠に意義深いものがあると思います。

私たちは、ここに本大会のメインテーマ「自ら考え行動できる子どもたちを育むためにPTAとしてできること」の趣旨を踏まえ、私たち会員一人一人が次に掲げる事項の実現に向けて全力で取り組んでいくことを宣言します。

- 一 自ら学び、考え、判断・行動できる人材の育成を支援する。
- 一 自他の生命の大切さを認識し、心身の健康について理解できる人材の育成を支援する。
- 一 多様性を尊重し、いじめや差別をしない人材の育成を支援する。
- 一 学校・家庭・地域社会が連携して、生涯にわたる学びを支援する。
- 一 時代の変化に対応した教育や情報化社会に適切に対応できる教育を支援する。